



教育センター・育成センター所報

GALLILEI



第三中学校



瑞穂中学校

「子どもの姿」をもとに語り合う協議会



日吉小学校



比角小学校

CONTENTS

- 今月の巻頭言..... P 1
- ★ものにはすべて名前がある（野鳥思い出話あれこれ）
教育センター運営委員
柏崎市立第三中学校長 長谷川 智
- 教育センターだより
 - ★アクセス（教育研究班）..... P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター）..... P 6
 - ★心の窓（教育相談班）..... P 10
- 青少年育成センター通信..... P 12
- 1月の行事予定表..... P 14
- 所員随想「つれづれ」..... P 14
 - ★心にクッションを 教育相談班 小林 東

平成26年12月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

ものにはすべて名前がある（野鳥思い出話あれこれ）

教育センター運営委員
柏崎市立第三中学校
校長 長谷川 智



エーミールがクジャクヤママユに夢中になったように、少年時代は誰にも夢中になるもの、心躍らせるものがあった。それを大人になった今でも持ち続けている人が知人に多くいる。

中学校のとき、野鳥クラブがあり、おもしろそうなので仲間と一緒に加入した。たぶん県の愛鳥モデル校に指定されていたのだと思う。八石山の麓に野鳥愛護林があり、杉板で巣箱を作ってシジュウカラやヤマガラが営巣するのを期待した。

仲間の一人が近くの山にフクロウの巣があるというので行ってみた。真っ白い綿毛のような羽毛をまとったヒナが数羽、杉の大木のうろ（樹洞）と呼ばれる穴の中でくちばしを開けているのが見えた。近くに親鳥が警戒声を出して飛んでいた。フクロウも猛禽類であり、雛を守るために外敵に攻撃を仕掛けることもある。早々にその場を立ち去った。

木造校舎の2階の教室のすぐ脇にプラタナスの木があって、そこにはキジバトが巣を作っていた。授業中に「デデポー、デデポー」とのんびりとした親鳥の鳴き声が葉間から聞こえてくると、数学教師の三平方の定理の説明より産毛が生え始めた雛の様子の方が気になった。

6月のある日、愛護林の巣箱の様子を確認した帰途、道中に筆記用具を忘れたため、一人山道に戻った。小径にあった忘れ物をリュックに入れ、戻ろうとした時、目の前を音もなく細長い物体が横切った。その物体が飛んでいった方向に目をやると、一羽の紫紺色をした鳥で、細長いと思ったのは、30センチ近くはある尾羽で、すぐにサンコウチョウだと分かった。その後、家の裏山や谷根地区の山あいでのこの鳥の鳴き声を聞くことはあっても、それ以来今日までその姿を見たことはない。



同様にアカショウビンも、決まって5月下旬の早朝5時ころ、自宅裏山で「キョロロ…」と鳴く声はすれど、これまで一度もその鮮やかな緋色の羽と長めのくちばしをもった姿にお目にかかったことはない。“声美人”のままに終わらせたくはないのだが。<写真提供：十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロより>

柏崎市内の山間部の中学校に勤務していたころ、授業中に突然「ガシャーン」とガラスの割れる音がした。「何があったんだ？」と思いながら職員がかけつけると、家庭科室に散乱したガラスとともに、一羽のヤマドリがすでに息絶えて横たわっていた。純朴な生徒たちが、清掃時間に毎日念入りにガラスを磨いていたため、野山の風景がガラスの向こうに広がっていたものと思われる。気の毒なことをした。

野山に出かけて、動植物を目にするとき、その名前を知りたくなる。視覚・聴覚・発語の三重苦のヘレン・ケラーが「ものにはすべて名前がある」と一つ一つ手ざわりで名前を覚えたように、実際に目で確かめながらこれからも野の植物や鳥の名前を覚えていきたい。

■研修講座より

**子どものために ICT 機器を使っていこう！という教科部のチームワークと、
自分の授業スタイルの中での活用がポイント！**

◆11/27（木）中学校英語デジタル教科書活用講座 授業者：第一中学校 千原 健志 教諭

この講座は、第一中学校、千原健志先生による ICT 機器を活用した英語の授業公開とその後の協議という内容でした。千原先生はタブレットを用いながらデジタル教科書ではカバーし切れない前置詞の使い方等を自作教材で補いながら、どの子も「学ぶ喜び」「分かる楽しさ」を感じるような授業を展開していました。



授業者の千原健志先生

参加者の感想には「千原先生は自分の英語授業のスタイルがあり、そこにデジタル教科書がある。だから自作教材で補う発想がでるのだと思います」等、自分なりの授業像をもった上でのツール活用が大事であることを記述する先生が多くいらっしゃいました。その後の話し合いでは一緒に参観した同校英語部の佐藤敦先生、金山理恵子先生を含む一中英語部の「子どものために ICT 機器を使っていこう」という姿勢が強く感じられ、デジタル教科書活用に向かうチーム力の大切さも学びました。

21世紀型学力は学び合いで！ ◆11/28（金）授業づくりの基礎基本「授業スタンダード10」

講師：新潟県中学校教育研究会事務局長 山内伸二様 授業者：柏崎市立第三中学校 今井雅彦教諭

この講座は第三中学校を会場に、中教研事務局長山内伸二先生を講師にお迎えし、第三中学校今井雅彦先生から社会科の授業「アジアの多様性と経済発展」を公開していただき行いました。そこでは、今井先生の緻密な指導計画に基づき、豊富な資料を提示し、インドや中国が発展した理由について子どもたちがグループで考えていく内容でした。その後の先生方によるグループごとの全員参加・提案型協議会では、ねらいに向かって効果的だったことと代案を出し合い、最後に「ゴールを見据え、価値ある資料を適切に提示する」等の代案が収束案となりました。講師で中教研事務局の山内伸二様からは「学び合いが論理的思考やコミュニケーション力を付けること」等のご指導を、また、会場校の長谷川智校長先生からは「三中職員にとっても大きな研修の場になった」とのお話をいただきました。



机間指導をする授業者の今井雅彦先生

教師の思いを込め、価値を明確にしたオーダーメイドの道徳授業を

◆12/2（火）道徳授業づくり講座②授業公開と元気の出る協議会

講師：比角小学校 若林 勝 校長 授業者：比角小学校 長部 由紀恵 教諭

この講座は比角小学校 若林勝校長先生を講師に、長部由紀恵先生から道徳授業公開していただき行いました。

今回は7月に行われた「道徳授業マイプランづくり」を受けての実践で、資料を用い「素直に謝る気持ち」を大事にした授業でした。授業者の長部先生は役割演技も取り入れながら「どうしてコロ（主人公）は謝ったのでしょうか」という発問をするなどして、価値の高まりに向かっていきました。その後、講師の若林校長先生からは「育てたい子どもの姿」「中心発問」「話し合い活動」「書く活動」等を大事にしながら道徳の授業で教師力を高めるようご指導がありました。充実した道徳の授業づくりに向かっていくことが期待できる講座となりました。



講師の若林勝校長先生（左）と授業者の長部由紀恵（右）

子どもが発見した問いを、気が付いたら子どもが解いていく・・・

◆12/9（火）算数・数学師範授業 講師：筑波大学附属小学校教員 山本 良和 様

この講座は、筑波大学附属小学校より山本良和先生をお招きして日吉小学校で師範授業とその後の講義を行いました。山本先生は、足し算の筆算を例に、子どもからの「えっ？」という謎やその謎解きの仕組みを子どもから引き出していく過程を公開されました。授業の終盤では、発見した事項を活用する場を設定しながら、子どもたちの「分かったつもり」を「わかった」という学びに代えていました。そして、教職5年を過ぎたら、終盤に行くほど問題意識が高まっていくこんな授業に挑戦してほしい、とも語っておられました。本当の興味・関心とは導入段階のことを指すのではなく、「起承転結」の「転」でさらに高くなるようなものであることも強調されていました。



講師の山本良和先生

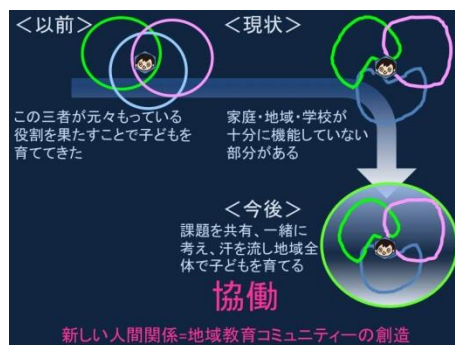
参加された先生方の感想には「子どもが発見した問いをみんなで解いていく過程を学びました」「算数を考える楽しさを実感しました」等、授業づくりへの意欲が高まる内容が数多くありました。

ともに歩む地域の学校づくりが必要なわけ

◆12/10（水）学校支援地域本部事業説明会（事務職員向け） 担当：教育センター山田 生涯学習課 春川純一課長 星野淳一係長

この講座は、事務職員向けに学校支援地域本部事業の必要性和平成20年度からの経緯、そして今後の展開について、事務職員がどうかかわっていけばよやかに触れながら行いました。そこでは、事務職員も主体的に学校経営に参画する中で事業の推進を図ることや、地域コーディネーターのサポート役を果たすこと等について取り上げていきました。

参加された先生方の感想には「なぜ、今、地域との協働なのか、ともに歩む地域の学校が必要なのか、その論立てがよく分かりました」「連携と協働の違いがわかり事務職員としても主体的にかかわっていかなければ、と思いました」等、この活動の推進に向かう意欲に関する記述が多くありました。



授業の協議会では、子どもの学びと育ちから語ること

◆12/11（木）どの子どもねらいを達成する授業づくり 講師：岡山大学教授 佐藤 暁 様

この講座は、岡山大学より佐藤暁先生をお招きし、瑞穂中学校を会場にして行いました。そこでは、まず、同校小林真史教諭の社会科「自由民権運動を山際七司の資料から理解する」等にかかわる公開授業を、その後、佐藤先生司会の協議会を行いました。小林先生の授業は個人-グループ-個人で考えていく形態で進み、それぞれの場面で子どもの学びを詳しく捉えていく方法で授業観察を行いました。



講師の佐藤暁先生（右）と授業者の小林真史先生（左）

その後の佐藤先生の司会での協議会では「授業が良かったどうか、という切り口から振り返るのではなく、こんな姿が事実としてあった、その要因は？」という観点で語り合う必要性を説かれました。そこで大事なものは「子どもの学び」だけでなく「子どもの育ち」であり、本時だけでなく、4月から授業者がどんな風に子どもを育ててきたかについてもきちんと評価すべきと語られました。

参加された先生方の感想には「グループ活動を始めた途端、一人ではどうしたら良いかわからなかった子が、隣の子のアドバイスを受け、意欲的に課題に立ち向かっていく姿を逃さずに捉えVTRで振り返ることができました。私達はこういう場を見逃してはいけないんだなあ、と感じました」等、こどもの学びの姿をよく見ていく必要性を感じる記述が多くありました。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
12/11	ALT News Letter 第 34 号

■ 整備教材の活用を！

今年度追加整備される機器

教職員用の校務 PC の入れ替え作業が行われていますが、この作業と同時かまたは後日、以下のような機器が追加整備されます。追加分は主にデジタル教科書の利用環境の改善を意図したのですが、その他の授業でも活用できる場面が多いと思いますので、ぜひ活用してください。

◆タブレット PC の無線投影を可能にする WiDi アダプター



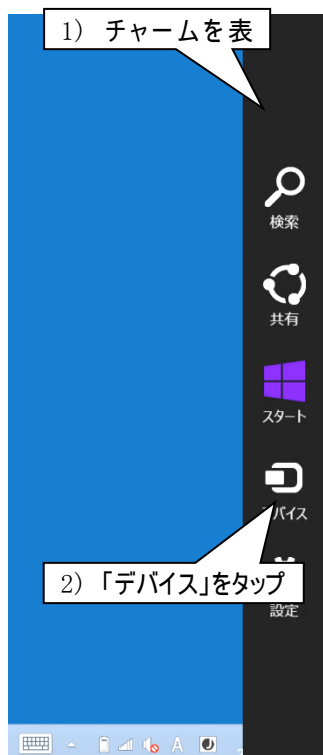
プロジェクターと WiDi アダプターを HDMI ケーブルで接続



タブレット PC から無線で投影できますので、教室内の自由な場所で操作可能

機動性の高いタブレット PC も、プロジェクターに接続する HDMI ケーブルが邪魔と感じる場面が多いと思います。この WiDi アダプターを使用すれば、机間指導しながらでも利用できますので、活用場面が格段に広がります。WiDi アダプターとタブレット PC は無線で直接やりとりしますので、映像の投影だけ(インターネットや共有フォルダなどへのアクセスが不要)なら、無線ルータなど他の機器は不要です。

専用のソフトウェアを起動することなく、以下のように Windows8.1 の標準機能で簡単に接続することができます。



POINT

- Android スマホやタブレットも、「Miracast」に対応している機種であれば、同じように無線投影を行うことができます。投影するために LAN に接続する必要はありませんので、手軽に接続できます。

◆タブレット PC だけでなく、ノート PC などからの無線投影を可能にする無線 LAN ユニット



上記で紹介した WiDi アダプターとは別に、短焦点プロジェクターに無線 LAN ユニートを追加します。今までも「EasyMP Network Projection」という名称の専用のソフトウェアを利用すれば、LAN に接続されている PC の画面を投影することができましたが、プロジェクター側に LAN ケーブルを接続する必要がなくなりますので、設置場所の自由度が高まります。(たとえば、体育館で大人数に対するプレゼンが必要なら、有線と無線で2台のプロジェクターを用意して同じ映像を投影することができます。)

POINT

- 無線 LAN ユニートを使用する際、「かんたんモード」と「マニュアルモード」の2種類の利用形態があります。「かんたんモード」は接続が容易ですが、機器間の通信はアドホックモードになり、インターネットや共有フォルダにはアクセスできなくなります。「マニュアルモード」は事前に無線 LAN の設定が必要になりますが(納入時に設定済み)、機器間の通信が無線ルータを介したインフラストラクチャモードになり、インターネットや共有フォルダへのアクセスも可能です。

■ 情報関連講習会のご案内

1 月に実施される講習会

◆H27.1.16(金) デジタルアルバム作成入門

デジタルカメラで撮影した画像を使って、CD や DVD にデジタルアルバムとしてまとめる手順について学習します。Windows Live ムービーメーカーで実施します。写真に動きや切り替え効果を与え、BGM などを付加してムービーとして仕上げ、それを DVD に書き込むところまでを扱います。



◆H27.1.29(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その8

→年間予定では 1/30(金)でしたが、変更させていただきました。

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12月10日付で12月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が3件、「重要」が4件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

【研修会・事業の様子】

初冬の森にも楽しみがいっぱい。植物と人間の生活や文化を語る。

◇「秋の植物観察会」 11月26日（水）15：00～

講師 相澤 陽一 様（柏崎植物研究グループ）

「冬の森に入ってみましょう！」と始まったこの研修。よくみるとおもしろいものがたくさん見つけられます。落ち葉だらけだと思いきや艶やかな緑の葉をした常緑のヒサカキやエゾユズリハ、ツルリンドウの実、赤い実のつくヤブコウジ。野外と研修室で講師の相澤先生から全部で45種類の植物のお話をお聞きしました。



自筆の植物画とそのエピソードをお話しされる相澤先生



冬の森での観察会

参加者の感想

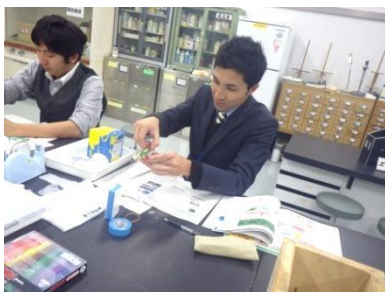
「詳しく教えていただいて、方言での言い方もわかって良かったです。いわれや名前の理由がわかると植物の名前もぐんと覚えやすくなると思いました。」

「生活と結びつけた興味深いお話をたくさん聞かせていただき、楽しかったです。」

「じしゃくにつくものは鉄！」児童の素朴な概念を理解しつつ、実感をともなった理解を！

◇小3 「じしゃくのひみつ」12月2日（火）15：00～

磁石での遊びを通して、磁石の性質や極の存在に気付かせる教材や指導法を紹介しました。そのあと、地球は大きな磁石でできていて、そのため方位磁針が動くことを実感させるミニ地球を作ったり、授業の流れをイメージしながら教材研究をしたりする時間になりました。



極の存在を意識づける教材紹介



簡単なおもちゃの紹介

参加者の感想

「とても参考になりました。ほかの本や教科書にないものが多かったので、子どもたちも特別感を感じられそうです。」

「磁石って楽しい」という思いを持たせながら、たくさんの経験の中から学びにつなげられるよう今日の研修を生かしたいと思います。」

◇小4 「人の体のつくりと運動」12月10日（水）15：00～

講師 刈羽村教育委員会指導主事 小林多佳子 様

関節・筋肉・骨があるから人や動物の体は巧みに動くことができることを、体験や活動を通して学ぶための教材の紹介をしました。いつも使っているから動くのが当たり前でその仕組みは・・・本当のところよくわからない体の中を解明していく楽しさを、有効な教材を通して子どもたちに伝えていけたらと思います。

また、手羽先の解剖もしました。筋肉は束であること、筋肉の端には腱があり、それがどこにつながっているのかを実感することができました。



講師の小林多佳子先生

参加者の感想

「たくさんの教材を作らせていただき、ワクワクしました。当たり前のことが「どうしてか？」と知る時の子どもの顔が目に浮かび、楽しみです。」

「自信をもって授業ができそうです。教わったことはすべて実践してみたいと思います。」



楽しみながら自分の体に興味をもつための工夫を研修

骨骨クイズ

Q1. 成人の人間の骨は全部でいくつ？

- ①約100個 ②約200個 ③約300個

Q2. 大人と子ども、骨の数の多いのはどっち？

- ①大人 ②子ども

Q3. ヒトの骨の中で一番小さな骨はどこ骨でしょう・・・



答え（Q1. ② Q2. ② Q3. 耳の中にあるアブミ骨約3mm）

先生方に代わって・・・簡単手づくり教材を作ります！

「うちの学校にこんなものがあれば、もっと子どもたちが実感をもって学習できるのに。理科が好きになれるのに。」と思うことはありませんか？買いたいけれど買えない教材、班の数分用意したいけれど作る時間がない・・・と思っている先生！必見です。材料費がかかるものもありますが、先生方に代わって理科センター職員が先生方のお好みのものをお作りします。相談に応じますので、理科センターにお電話ください。

以下のようなものを作成します。

	<p>小6 電気の利用</p> <p>電熱線の太さの違いで熱の発生の違いを確かめる実験器。 必要な学校はぜひ。</p>		<p>小3 じしゃくの秘密</p> <p>磁界が立体的に観察できます。モールを大量に切って！という要望も承ります！</p>
	<p>小5・中2 電流の働きと磁界</p> <p>マグチップより扱いやすい磁力線を見るチップ。 この量を学校で用意するのは大変！</p>		<p>中1 光と音</p> <p>鏡に映る虚像の位置を理解しやすい教材</p>
	<p>中2 原子・分子</p> <p>分子運動のモデル実験器です。3mm発泡スチロール球が激しく動き、分子運動を表現します。</p>		<p>小4 人のからだのつくりと運動</p> <p>人間の体が巧みに動くには関節があるからだ実感できる体験グッズです。</p>
	<p>小4 人のからだのつくりと運動</p> <p>厚紙と栗ネットで作ります。</p>		<p>小4 人のからだのつくりと運動</p> <p>ストローと栗ネットで作ります。</p>

上記以外でも、お声掛けいただければ相談にのります。ぜひ、各校の理科教育の充実にむけて協力させてください。



貸し出します！

<磁化用コイル>

磁気が弱くなっている棒磁石やU字磁石の磁気を復活させる装置です。うちの理科室にある磁石はどうも弱過ぎて・・・と感じている方は冬休み中に直しておくのはいかがでしょうか。



<霧箱セット>

放射線の飛跡を見るための道具です。本年度、放射線に関する授業は行われましたか？自然放射線を観察できる霧箱が8セットあります。観察に必要なエタノールとドライアイスを各学校でご用意していただければ、授業で簡単に放射線が身の回りに飛んでいることを実感させることができます。ドライアイスをどれぐらい注文すればいいかわからない場合は、センターまでお問い合わせください。また、実験の補助にセンター職員が出向くこともできます。ご利用ください。

1月の予定

○柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会 & 筑波大学附属小学校佐々木昭弘先生師範授業・講演会

◇日時 1月9日(金)

◇会場 柏崎市立比角小学校

◇内容 講師の筑波大学附属小学校の佐々木先生は「理科における言語活動」や「理科と国語科との関連」をテーマに研究されている先生です。問題解決学習の中にどのように言語活動を取り入れ、充実させていくか、日々の理科授業に生かせる師範授業・講演会です。多くの方々からのご参加をお待ちしております。今年度の柏崎刈羽地区第27回教職員理科研究発表会は、同日の午前開催です。地域の先生方の実践発表と、筑波大学附属小学校の先生による師範授業と講演会を一日日程で行います。

○生活科「動くおもちゃづくり」

◇日時 1月21日(水) 15:00～

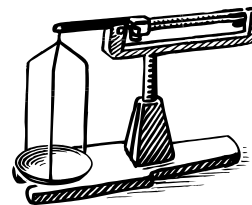
◇内容 生活科から理科につながる科学の目を、ものづくりを通して育てましょう。

連絡

☆冬休み中にセンターの備品整理を行います。センターから借りた物品のある学校は、ご返却をお願いします。また、理科主任の先生方も学校の準備室をすっきり整理して、気持ちのよい理科室で新年を迎えましょう。

☆学校研科学教育研究部に所属している先生方へ連絡です。「現場が生んだ

理科指導上の工夫」第43集の原稿提出締切が近づいてきました。締切は平成27年1月13日(火)です。高柳中学校 藤野良太 教諭までご提出ください。日々の実践のちょっとした工夫がたくさん集まるといいなあと思います。よろしくお願いいたします。



心の窓

No.184

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

「カウンセリングを受ける前に」

不登校や発達障害などのお子さんの問題について保護者からの相談を受けていて、お子さんの特性や気質・性格に課題が見つかるのは勿論のことですが、親の躰け様式や普段の接し方・養育態度に問題が見つかる場合も往々にしてあります。

今までに実際にあった事例の、実際に私が行った親への注文や課した宿題を以下に書き出してみます。もちろん、これら全てが全ての事例に当てはまるものではありません。お子さんの年齢や状態によっては全く適切でない場合もあるかもしれません。

カウンセリングを受ける前に・・・まずは家庭で以下のことを守ってください。

- ・ 子どもに相談に行く理由を説明してから連れて来てください。
- ・ 子どもにどう変わってほしいかを、予め、夫婦（大人）同士で話し合ってきてください。
- ・ 子どもが悪いことをしたら叱ってください。良いことをしたら誉めてください。
- ・ 子どもの我儘に対しては、お願い口調ではなく、命令して言うことを聞かせてください。
- ・ ごほうびは、先ではなく、後にあげてください。
- ・ 子ども一人で食事を取らせないでください。
- ・ 夜の消灯時間は親が決めてください。
- ・ 朝、7時までには起こして食事をさせてください。
- ・ 個室（自分の部屋）にゲーム機やPCを持ち込ませないでください。
- ・ 携帯電話は安易に持たせないでください。もしも持たせるなら、ホフマンの契約書※のような、約束・ルールを子どもと文書で交わしてください。

※アメリカのシャネル・ホフマンさんが息子のグレゴリー君に渡したiphoneの使用契約書。

- ・ 家族のための手伝いを1つ以上させてください。
- ・ 母親（妻）や父親（夫）の悪口を子どもに聞かせないでください。
- ・ 子どもの前で学校の先生の不手際を告発したり不満を訴えたりしないでください。
- ・ 子どもの前で他人の子を差別するようなことを言わないでください。
- ・ 「お前は問題児だ」というレッテルを張らないでください。
- ・ きょうだいをあからさまに比較したり依怙贖したりしないでください。
- ・ 言うことを聞かせるために叩いたり包丁で嚇したりしないでください。
- ・ 「少なくとも、子どもよりも大人になってから相談に来てください。」

「え？そんな簡単なこと？」「そこまでは必要ある？」などと首を傾げる方も居るかもしれません。確かに、各家庭、各親がそれぞれ好きにして良い事柄もあります。しかし、カウンセリングを受ける前の段階で、まずは親が足元を見直し、親としての最善を尽くせば、いとも簡単に子どもの問題が解消することもある、というのも事実です。

（文責：教育相談班係長 小林東）

☆ふれあいルームより☆

『ふれあいルーム陶芸展』を開催



3回の陶芸体験で作った作品を教育センターの玄関に展示し、大勢の皆さんから観ていただきました。今年も個性的な作品が完成し、今年の新色の釉薬を使った、優しい淡い色の作品も多く見られました。毎年、ふれあい陶芸展を楽しみに観てくださる方から「うまくできたね。」「素敵な色だね。」などと感想をいただきました。展示会后、子どもたちは家で使うことを楽しみにして、作品を大切に持ち帰りました。

《そば打ち体験》

ふれあいルーム年末の恒例行事「そば打ち」を今年も半田コミュニティセンターで講師の嶋岡先生、斉藤先生のご指導のもと体験してきました。今年は粉を計り、ふのり、水を加える最初の作業から体験しました。とても熱心に先生の話聞き、作業する子どもたちの姿をほめていただき、子どもたちの表情も柔らかくなり、楽しく活動することができました。



2人一組のペアで作業したのですが、共同作業をすることによって、会話も弾み、より楽しい時間を過ごせたようです。揚げていただいたかき揚げ天ぷらとみんなで作ったおいしいおそばをいただき、お腹も心もぽかぽかとあたたかくなった体験活動でした。



(ふれあいルーム指導員 須藤 直子)



教育相談班 1月の予定

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 9日 (金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 16日 (金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 23日 (金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 29日 (木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 30日 (金) 18:30~20:00 中学生第2グループ



《ふれあいルーム》

- 8日 (木) 後期後半通級開始
- 9日 (金) ソフィアセンター
- 15日 (木) スケート教室 ②
9:30~11:30 アクアパーク
- 22日 (木) ヨガ教室

育成センター通信

0850

柏崎市青少年育成センター
〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2
Tel.0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

青少年がインターネットを安全に安心して活用するためには？ インターネットはスマートフォンの時代

スマートフォンが急激に普及し、インターネットがますます青少年にとって身近になっています。

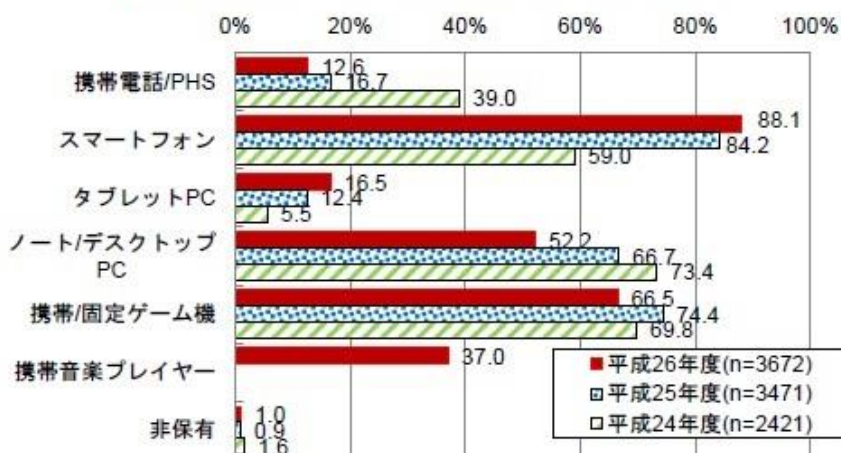
右図は、高校1年生を対象とした調査ですが、9月に市民会議が実施した調査では、小学低学年での保有も進んでいることが分かりました。

また、スマホに子守りをさせる親の姿も多く見かけます。

インターネットの利点は、計り知れないものがありますが、弊害もまた多くあるという事実を知っておく必要があります。

学校現場では、情報モラル教育に力をいれていますが、家庭教育がより重要だといわれています。その大人の多くが情報教育を受けていないという実態を踏まえて、関係機関が連携して対策を講じる必要があります。

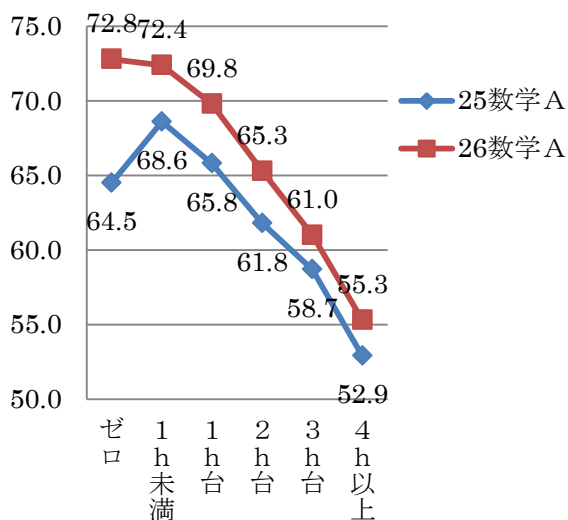
【保有するインターネット接続機器(複数回答)】



携帯音楽プレイヤーは平成25年度以前は集計していない

<総務省青少年のインターネットリテラシー指標等調査より>

学力とネット利用の相関



左図は、文部科学省が実施している全国学力学習状況調査結果から中学第3学年の学力とネット利用の相関をグラフにしたものです。国語A・B、数学Bも同様の傾向にあり、小学第6学年の調査結果も同様でした。

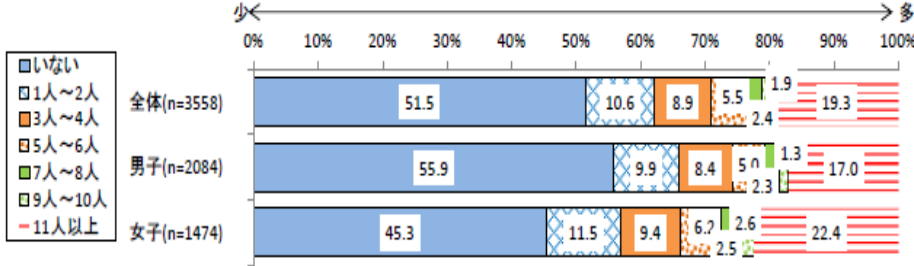
平成25年の調査で、ネットを全く利用しない生徒より1時間程度利用する生徒の学力が上回っていることに対して、「ネットで調べものをしたりする効用が表れたのではないか」などと言われていましたが、平成26年度調査では、この「へ」の字形はなくなりました。

ネット利用の弊害が学力にも現れています。

青少年のSNSでの交流状況等

平成26年度総務省 青少年（高1）のインターネットリテラシー指標等調査より

【一度も会ったことのないSNS上だけの友人数】

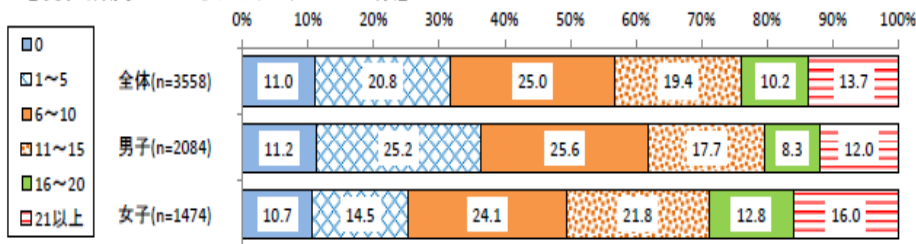


一度も会ったことのないSNSの友人数は、**いないが最も多く約半分**。19.3%の青少年は**11人以上**いる。また、**女子の方が男子よりSNSの友人数が多い**。

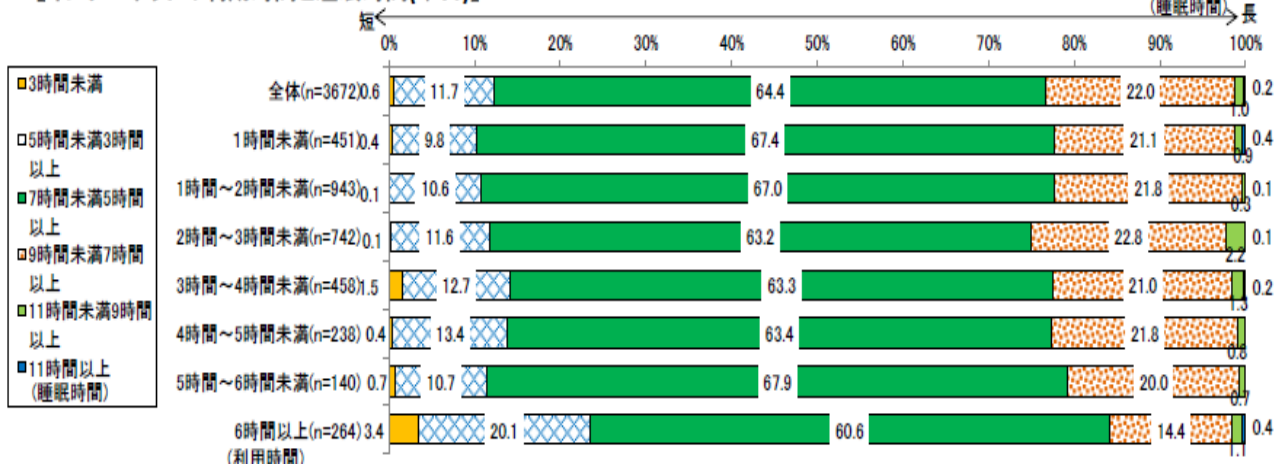
・チャットグループ数は6~10が最も多い。これも**女子の方が男子より多い**。

・インターネット利用時間と睡眠時間の相関関係を見ると、長時間利用になるにつれ睡眠時間が減る傾向がある。

【現在所属しているチャットグループ数】



【インターネットの利用時間と睡眠時間(平日)】



子育てアプリでしつけ ???

スマホの普及とともに子育てアプリが登場し人気を呼んでいる。「鬼から電話」は、しつけアプリの一つ。リアルな着信と通話画面、迫力のある怖い音声で子どもに「なまはげ」をモチーフにしたキャラクターが一喝してくれるアプリだ。

効果抜群と大喜びの親もいるが、怖がりすぎてかわいそうだったとか、子どもが寝なくなると嘆く声も聞かれる。

本物の「なまはげ」を見て泣く子は、お父さんやお母さんに抱きつく。ここでの恐怖は、心から安心できる親（家族）の愛に包まれつつの「恐怖心」なのだが、親が突然突きつけるスマホの中の「鬼」は親と一体化したものであり「逃げ場のない恐怖心」を与える。

便利なスマホ。でも、子どもとの信頼関係を奪わないようにうまく使わなくてはならない。



平成27年1月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	木	休日
2	金	休日
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	ふ:後期後半通級開始
9	金	科:教職員理科研究発表会・授業公開(比角小)9:45-16:30 ふ:ソフィアセンター10:00-11:30 相:いろいろ体験グループ小A16:30-
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	研:養護教諭のための授業づくり講座①
15	木	研:毅然とした生徒指導 ふ:スケート教室②9:30-11:45アクアパーク
16	金	研:これからの授業づくりに必要な視点 情:デジタルアルバム作成入門 相:いろいろ体験グループ小B16:30-
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	研:CAN-DOリストを生かした単元指導案作り③
21	水	研:中学校家庭科教材研究 科:生活科「動くおもちゃづくり」15:00-
22	木	研:授業づくりゼミ③ 研:毒別支援学級経営の基礎基本③ ふ:ヨガ教室10:00-11:45
23	金	相:いろいろ体験グループ小C16:30-
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	研:算数・数学教材研究
28	水	研:社会科教材研究法
29	木	相:いろいろ体験グループ中①18:30-
30	金	研:スキー講座 情:フリーQ&A 相:いろいろ体験グループ中②18:30-
31	土	
研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班		
情:情報教育研修 ふ:ふれあいルーム 育:育成センター		



所 員 随 想

「心にクッションを」

教育相談班 小林 東

親に捨てられた子どもたちが児童養護施設「コガモの家」でたくましく生きる姿を描いた連続ドラマ『明日、ママがいない』（日本テレビ 2014年1月～3月）を覚えているだろうか。芦田愛菜演じる主人公の子どものあだ名が「ポスト」であったことや、三上博史演じる「魔王」こと施設長が子どもたちをペット呼ばわりする内容に、病院関係者や児童養護施設からの抗議が起こり、スポンサーのCM自粛や脚本変更に及ぶなどの大きな波紋を呼んだ。そして、この事態に一石を投じるかのような「魔王」の台詞は多くの視聴者の心を揺さぶった。

「心に受け止めるクッションを、情緒を、持ちなさい。世界に存在するあらゆる汚れや醜さから目を背けず、一度受け止めて、見なさい。」

ここ最近、児童虐待事件のニュースが（またしても）立て続いている。辛いニュースを見聞きする度に、やりきれない思いに駆られる。ひどい親が居るものだと憤怒を覚えるし、相談・通報歴が有りながら何故未然に防げなかったのかと児相や警察を正直恨みたくもなる。しかし一方で、詳しい経過や事の真相を知らない自分ごときに何が分かるというのか、偽善ぶるな、と、自己批判する気持ちも真逆に起きる。現実にはドラマ以上に複雑かつ過酷なはずだ。現実を見ようとしない、聞こうとしない、考えようとしないことから偏見は生まれる。憎むべきは「クッション」を持たない自分自身の心なのだ。

来年こそは、虐待されて亡くなる子が居ませんように。心にクッションが持てますように。年の瀬を迎え、じっと祈るばかりである。

教育センター 案内図



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システムURL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年12月発

=====